

Weekly Report

国際ロータリー第2580地区

東京江戸川ロータリークラブ
ROTARY CLUB OF TOKYO EDOGAWA

Vol.56 No.8 第2526回 2019年9月2日



<< 行船公園(平成庭園・源心庵) >>

ロータリーは世界をつなぐ



ROTARY CONNECTS THE WORLD

RI会長 マーク・ダニエル・マローニー

『信頼』それが我らのロータリー

“Trust” That’s our Rotary

東京江戸川ロータリークラブ会長 多賀之雄



[本日の卓話] 9月2日

「“ドラッカーの実践”
アミュレット事業戦略検討シートについて」

当クラブ会員 市川充 君

[次回の卓話] 9月9日

ロータリーと「カルネアデスの板」

パストガバナー 上野操 氏

第2525回 2019年8月26日 例会報告

◆点鐘・ロータリーソング

「それでこそロータリー」「四つのテスト」

◆来客紹介

●ご来賓4名

新本博司様(第2580地区ガバナー)

田村純治様(東分区ガバナー補佐)

岡本隆一様(第2580地区幹事)

皆川英久様(東分区幹事)

●ビジター・ゲスト2名

大澤文誉様(大澤恒也名誉会員ゲスト)

スガイラ・アルファロ様(フィリピンカギティンガンRC)

◆出席状況報告(前々回訂正出席率)

45名中 41名出席 出席率97.61%(8/5…100%)

◆会長報告

●8/22(木)すみだトリフォニーホール・東武ホテルレバント東京で開催の、東京向島RC創立50周年記念式典に、当クラブより4名(上野パストガバナー・山本パストガバナー補佐・多賀会長・久保幹事)が出席しました

●横山会員事業所 東工・バレックス(株)が、8/20(火)~21(水)の2日間、高校生の就業体験で都立新宿高校の1年生男子を1名受け入れました。バルブと

はどのような機械で、世の中のどんな部分で役立っているのか、モノ作りとはどういうものか、会社で働くということはどういうことかを主に研修させました

◆幹事報告

●例会終了後 写真撮影を行いますので、速やかに写真室へご移動下さい

●次週9/2(月)の例会は7F「チャペル」での開催となります

◆委員会報告

●職業奉仕委員会(田中委員長)…8/21(水)ストリングス表参道で開催の地区職業奉仕セミナーに出席しました

●釣り同好会(後関委員長)…第1回魚を食べる会を9/1(日)午前11時から夕方まで後関の事業所で行います。皆様のご参加をお待ち申し上げます

●ロータリー財団委員会(松井委員長)…多賀会長・山本パストガバナー補佐より恒久基金へ1,000ドルずつ、松井委員長家族(松井仁志様)より年次基金へ1,000ドルのご寄付を頂きました。認証レベルは、多賀会長・山本パストガバナー補佐はベネファクター、松井仁志はポールハリスフェローとなります

委員会報告 2頁へ続く

創立 1964年7月30日
例会日 月曜日(12:30~13:30)
例会場 タワーホール船堀 TEL(5676-5511) 〒134-0091 江戸川区船堀4-1-1
事務局 〒130-0013 墨田区錦糸1-1-5 Aビル6階(事務局員/松本育子)
TEL 5637-4603 FAX 5637-4611 E-mail: edogawa@club.email.ne.jp

会長 多賀之雄
副会長 山本昌之
幹事 久保克
会報委員会 柴田憲男、川野克博、伊東兼一
URL http://www.edogawa-rc.jp

◆委員会報告(1頁続き)

●台北東RC委員会(市川委員長)…11月に開催を予定している台北東56周年記念例会への参加の下見の為、先週台北に行きまして。8/16(金)のテーブルミーティングと8/19(月)の8クラブ合同ミーティングに参加しました。期間中は、小川俊輔様(2019-20対日奉仕委員(RI3522地区ロータリー米山委員))に大変お世話になりました。台北旅行は11/2(土)~5(火)を予定しています。詳細は近日中にご案内させていただきます。皆様のご参加を楽しみにしています

◆本日の卓話

「ガバナー講評」

第2580地区ガバナー 新本博司 氏



ニコニコボックス 本日合計 65,000円
今期累計 589,000円



多賀君…新本博司ガバナー・田村純治ガバナー補佐・岡本隆一地区副幹事・皆川英久分区分事、公式訪問ありがとうございます。

松井さん先日はご馳走になりありがとうございました

大澤君、増田君、大野(達)君、岡本君、久保田君、横山君、岩倉君、宇多君、後関君、中山君、松井君、山本(和)君、森田君、西川君、山本(昌)君、小林君、川野君、伊東君、大野平君、高橋君…新本ガバナーようこそいらっしゃいました

上野君、荒井君、佐久間君、渡邊君…新本ガバナー・田村ガバナー補佐・岡本地区幹事・皆川東分区分事ようこそいらっしゃいました

大澤君…出席お祝いを頂きありがとうございました

飯田君…高橋さん、息子がいつもお世話になりありがとうございます

岩倉君…中山さんにお世話になりました

川野君…柴田さん写真ありがとうございました

大野平君…小林さん・市川さん、昨日はお祭りで疲れ様でした

高橋君…小林さん、胃・腸カメラ検査ではお世話になりました

市川君…無事、台北東RCに行きまして。

小川さんには良くして頂きました。先週ニコニコ及びホワイトボードの書き換えをして頂いた皆様、大変ありがとうございました

関口君…ニコニコご苦労様です

ガバナー公式訪問お礼状

2019年8月26日

東京江戸川ロータリークラブ御中

国際ロータリー第2580地区
ガバナー 新本 博司
地区副幹事 岡本 隆一

謹啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

貴クラブへの公式訪問に際しましては、会長・幹事をはじめ会員の皆様に歓迎いただきまして、誠にありがとうございました。

ご多忙の皆様に貴重なお時間をいただき、貴クラブの活動状況をお聞きすることができました。心より感謝申し上げます。

RIテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」をご理解いただき、会員の皆様が楽しくロータリー活動に励まれますことを願っております。貴クラブのますますのご発展と会員の皆様のご活躍を祈念して、お礼のご挨拶とさせていただきます。 謹白

9月お祝い

- 誕生日お祝い 須賀君 田中君
- 奥様誕生日お祝い 岩倉君 後関君 須賀君
- 結婚記念日お祝い 山本(昌)君
- 出席100%お祝い 上野君(45回)
松井君(25回)
- 9月受付当番 宇多君 森田君 柴田君

～お知らせ～

9月21日(土)

東分区分区インターシティ・ミーティング(IM)
当日の参加クラブ紹介時間は、
第三部(17:25開始)の冒頭、
田村純治ガバナー補佐より紹介が
ございます。

奉仕の実践/平和で明るい未来

国際ロータリー第 2580 地区
2019-20 ガバナー 新本博司

一期一会の心で奉仕の実践を

私たちは、先輩や友人、知人に紹介され、勧誘の言葉に刺激を受け、加入の決意をし、ロータリークラブの会員になったと思います。

ロータリークラブが何をする団体かを知らずに入った人も、社会に貢献する団体と認識し、選ばれたことに誇りをもって入会した人も、動機は様々ですが、「一期一会」の関係をもったことは事実で、「一つ一つの機会を大切に作る」縁で結ばれたと言うことでしょう。

価値観を分かち合える人を見つける為に創設されたロータリークラブが、長い年月の経った今日も変わらず輝きを増しています。それは誠実さ、多様性、寛容、友情、平和を信じ、そして人生の最大の目的は人類のために奉仕することと信じている人々と行動を共にするからだと思えます。親睦のために集まる会合は、日常どこにもあります。ロータリーは、型式や堅苦しさには囚われず、社会的な地位や身分とは無関係に、どの国の人とも対等な立場で会合を開いているので、お互いの友情が育まれるのです。この友情が続けば国家や宗教などの境界が消えることをロータリーが実証したのです。

ロータリーのロゴである歯車が停まることなく、地域や時を超えて世界平和に向けて回り続けるには、どうすればいいのでしょうか？

地域単位で構成されるクラブにとってロータリーの掲げる相互理解と国際親善の推進、即ち「奉仕の精神」を振興することこそ、活性化に不可欠です。

不易流行で明るい平和な未来を

ロータリーは世界の恒久的平和を推進することを強く求めて活動しています。ロータリーの理念をしっかりと踏まえた上で、時代の流れとともに私たちの背景が大きく変化している状況に対応し、入会してよかったと思えるクラブになることが大事だと考えます。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎とし奉仕の理念を推奨し、これを育むことにありと謳い、ロータリアン一人一人が個人として、事業及び社会生活において、日々奉仕の理念を実践することにあります。

まさに今こそ原点に戻り、各クラブに於いて地域や社会のニーズを掘り起こし、2019-20 年度計画を立て、実践することです。即ち、実践なき奉仕は無きに等しいのです。

日本のロータリーが誕生して、2020 年に 100 周年を迎えます。これは、先輩ロータリアンがロータリーに魅力を感じ、次世代につないできた結果です。これからも未来を築いていくには、ロータリアン、ロータリークラブ、地区、RI が、私たちを取り巻く地域社会、国際社会、経済環境の変化、また人々の価値観の変化と向き合う必要があります。

様々な技術、情報があまりに速く世界を駆け巡る中、迅速な対応は容易ではありません。

私たちがロータリークラブに入会し、その組織基盤をベースにして活動するのは、自分たちの心の中に存在する社会を少しでも良くしていきたい、人の役に立ちたいという気持ちを実践する時に、より効果的に、より多くの成果を求め、自分たちの職業を生かした奉仕をしたいと考えるからです。よって奉仕活動の実践内容を、今の地域社会のニーズの変化に適応したものに変えていく必要があります。

本年度は改めて、ロータリーの活動の価値を一人一人が見出し、自らが実践するロータリアンとして、昨日と違う自分を見つけ、継続して実行する人になる年にしましょう。

ロータリアン一人一人が誰からも尊敬と信頼される社会人として存在することが、会員増強に繋がります。牽いてはロータリー存続を保証することになります。

アーサー・F・シェルドン

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」
「ビジネスはすべて社会に尽くす手段でなければならぬ」

第 2580 地区方針

重点項目 1. 公共イメージと認知度の向上

ロータリーという名前を耳にしたことがあっても、どういう活動をしている団体なのか、理解しているか、の問いに世間(クラブ会員を含め)35%がよく知らない、というのが現実です。

「長年ロータリーは広報や認知活動に努めることなく、地元や世界でどれだけ素晴らしい活動をしているのかを、もっと効果的且つ積極的にマーケティング活動することによって、ロータリーの公共イメージを高める必要がある。」(ジョン・ジャーム元 RI 会長)

奉仕の実践を通し、クラブを活性化し、活動状況を、ソーシャルメディアを活用して、PR していきたいと考えます。

①その為に、地区公共イメージ向上委員会を立ち上げます。

奉仕を実践し、それをメディアを使って社会に知らせることを、目標とします。認知度の向上、会員の積極性向上、地元プロジェクトに対する協力と支援など、どの様な形が採れるかを、委員会で検討して貰います。そして、年間を通じて最もインパクトの高いクラブ・個人を審査し「よいことをした大賞」の授与も計画しています。

委員会やクラブには、ロータリーショーケースの利用を推進します。奉仕の実践を、タイムリーにロータリーショーケースに載せることは、情報の提供の第一歩と考えます。

ロータリーショーケースに載った奉仕活動を、積極的にメディアで紹介していく方法も、採れば良いと思います。

②またロータリー活動を一般の方々に PR するイベントとして、地区・分区そしてクラブでロータリーデーを開催することを奨励します。

皆さんには、ソーシャルメディアへの記事掲載をして頂き、メディアにも記事を掲載して貰いたいと願っています。そして、クラブ規模のロータリーデー開催に繋がることを、期待します。

公共イメージ向上委員会は、1年間かけて、どうやって社会にロータリーの奉仕活動を認知して貰えるかを検討して頂きたい。クラブは、公共イメージ向上委員会と連携して、奉仕の実践を社会に発信して頂きたい。

重点項目 2. 奉仕の実践

我々は自己犠牲の上に奉仕活動をしているのでしょうか、決してそうではありません。少子高齢化社会は予想以上に、しかも急速に進んでいます。その結果、日本各地で限界集落が増えています。人口が減ることはあらゆる職業に影響を与えます。奉仕したくても時間が取れないということもあるでしょう。

しかし、現代は都会のみならず地方でも人々の付き合いは希薄化し、結果、子どもの貧困など住み難い社会になっているのはご承知の通りです。これらの諸問題は自らの職業、会社と無関係に存在しているのでしょうか、そうではありません。自分が住んでいる地域社会の治安が悪く、老後を安心して暮らせないと思うと、その地域から離れていきます。結果、その地域は疲弊し、商売も成り立たなくなります。

要するに奉仕は自己を犠牲にして行うのではなく、奉仕することが自分の職業を存続させる道だと気付くことです。

奉仕をどの様にしていけば良いのか、迷うクラブもあると思います。

ロータリーの奉仕は、クラブ単位で行われます。社会奉仕委員会は、どの様な社会奉仕がロータリークラブに出来るのか、情報の発信場所となって、クラブを引っ張って頂きたい。

実践あってこそその公共イメージ向上です。

重点項目 3. 青少年奉仕活動の強化

マローニー会長は、青少年奉仕活動に大変な理解を示して居ます。ローターアクトを、国際協議会のオブザーバーでなく、ロータリアン同様の参加をさせたことから、明らかです。

ローターアクトの設立を、クラブにお願いします。設立して居ないクラブには、是非次年度に設立の検討をして頂きたい。

インターアクトクラブの設置や、青少年交換のホストファミリー問題の解決も、重要です。

青少年奉仕委員会、ローターアクト委員会、インターアクト委員会、RYLA 委員会等と連携して、クラブが青少年奉仕活動を活発化する様、期待します。青少年奉仕は、平和で明るい未来を作る為入力、不可欠な要素です。

継続項目：

地区の方針は、今年重点項目だけではありません。継続して実践することは、重要です。

①研修と実践

3か年の研修計画は松坂ガバナー年度で終わりますが、研修を実践の為にエンジンと考え、継続します。

②会員増強

会員増強は、奉仕の実践の為に必要不可欠な要素です。

③ガバナー補佐 13人体制

松坂ガバナー年度に始まったガバナー補佐 13 人体制は、より充実した地区とクラブの架け橋となる様に継続します。

④オンツーホノルル

⑤日台・日韓親善

平和で明るい未来を作る為には、紛争が無い社会にしなくてはなりません。近隣諸国と民間レベルで親善を行うことは、大変重要だと考えます。

マーク・ダニエル・マローニーのビジョンと目標の声明を紹介します。

ビジョンと目標の声明

幸運にも会長に選ばれば、私はロータリーをより良いものにするためにほかのリーダーと精力的に協力します。

私が主に重点を置くのは、ロータリーの心臓部であるクラブのサポートと強化です。ロータリーのリーダーたちは今、ロータリーが奉仕活動を行う会員組織なのか、会員を擁する奉仕団体なのか、決めかねています。クラブこそ、ロータリーの本体なのです。ロータリーは、今クラブを基本とする会員制を保持しなければいけないという方針に私は従います。

そして、会員増強の様々な問題に前向きに対処します。英国、北欧、オーストラリア、北米では、ロータリアンの会員数は伸び悩んでいます。日本と同じく、高齢化の問題に直面しているのです。アジアでは会員数は上向きですが、リーダーからは数よりも質に重点を置きたいという声もあがっています。ドイツなど欧州諸国では、ロータリアンの地位は高く、安定した伸びを見せています。ですから、画一的な解決策では望み通りの結果は得られません。地域独特の問題に対処するロータリアンの永続的な組織が必要だと私は考えます。この組織は正式な委員会の枠組みと、ロータリアンが実施しやすい行動計画を備え、クラブに働きかけなくてはなりません。

また、私はポリオ撲滅後の世界におけるロータリーの将来の方向性を定めるべく、ロータリーのリーダーたちに働きかけ、会長たちに意見を求めます。ポリオ撲滅という偉業を成し遂げた暁には、ロータリーの認知度は非常に高くなり、数多くの機会に恵まれることでしょう。

この時こそ、より多面的な提携関係を活用すべき時なのです。多くの団体がロータリーとの提携を求めようになります。ロータリーの活動は注目を集め、よいことを行う世界的な発信となれるかもしれません。

1年間に詰め込みすぎと思われるかもしれませんが、実現可能なのです。皆さんと力を合わせればかならず成功すると信じています。